

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院で 診療を受けられる患者さんへ ～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	溶連菌感染後急性糸球体腎炎の乏尿の病態についての研究		
研究実施予定期間	院長が研究実施を許可した日 ～ (西暦) 2022年 9月		
研究実施診療科	小児科、小児腎臓科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2020年 1月 6日	
	院長が研究実施を許可した日	2020年 1月 7日	
対象となる方	対象期間内に、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院小児科、小児腎臓科において、溶連菌感染後急性糸球体腎炎の診断を受けた方		
対象期間	(西暦) 2010年 1月 ～ (西暦) 2019年 12月		
主たる研究実施機関	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 (研究代表者氏名： 後藤 芳充)		
共同研究機関	別紙【研究組織】参照		
当院の研究責任者	所属	小児腎臓科	氏名 後藤芳充
研究の意義	溶連菌感染後急性糸球体腎炎における尿量減少や浮腫、高血圧を生じるメカニズムを知ることは、治療や検査の方針を立てるうえで有益です。		
研究の目的	溶連菌感染後急性糸球体腎炎における尿量減少や浮腫、高血圧を生じるメカニズムを解明することです。		
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、集められた情報を研究代表者が解析します。		
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、匿名化した上で使用します。(年齢、身長、体重、性別等の基本情報、使用している薬、血圧、尿量、血液・尿検査データ等)		
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。		
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。		

研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報等は、将来、本研究に関連する別の研究のために利用させていただく可能性があります。その場合には、その計画について別途倫理審査を受け、承認を得た上で使用します。二次利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
問い合わせ先	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 小児腎臓科 真島久和 電話 052-832-1121 (代表)

《別紙》

【研究組織】

1. 研究責任者・代表者

責任者

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 小児腎臓科 部長 後藤芳充

代表者

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 小児腎臓科 真島久和

2. 共同研究者

所 属	責任者
あいち小児保健医療総合センター 腎臓科	藤田直也
名古屋市立西部医療センター 小児科	山田拓司
一宮市立市民病院 小児科	三好真理
市立四日市病院 小児科	牛嶋克実
聖隷浜松病院 小児科	山本雅紀
岐阜県総合医療センター 小児科	松隈英治

3. 研究実施施設

あいち小児保健医療総合センター 腎臓科

名古屋市立西部医療センター 小児科

一宮市立市民病院 小児科

市立四日市病院 小児科

聖隷浜松病院 小児科

岐阜県総合医療センター 小児科